

# とやま 県広報 2006. 4 vol.416

● 特集…平成18年度県予算

● とやま的!…障害者支援

● 県政の動き…1月～5月

● 元気とやま目安箱

● とやま旬レシピ…和風ポークソテー

● とやまお出かけサイト

● もっと知りたいとやま

とやまの

◎表紙の人……p.11 **子育て支援**

川嶋俊彦さん(左)・小谷暁さん(とやまっ子さんさん広場・さんさんサポーター)  
(子どもたちは「ビバふじみだい」の皆さん)

地域の人たちが子どもたちの居場所を作り、子育てを応援する「とやまっ子さんさん広場」。  
太陽みたいにあたたかい「さんさんサポーター(世話人)」の皆さんのもと  
子どもたちは、すくすく元気に成長しています。



# 「チャレンジを応援する気持ち」を形にしました。

## 「対話と改革」の元気とやま創造予算—平成18年度県予算—



平成18年度の県予算が決定しました。その特徴をひと言で表現すると、「チャレンジする人を応援する」予算。予算規模は、前年度比3.0%減の5,256億円と7年連続のマイナスとなりました。昭和21年以降、前年度比で最大の減少率ですが、タウンミーティングなどで寄せられた県民の皆さんの声をしっかりと反映させています。

石井知事が一昨年11月の就任以来取り組んできた財政再建・行政改革は基礎固めを終え、山登りに例えると「山頂への道筋が見えてきた」ところです。平成18年度はこの予算のもと、財政再建を着実に進める一方で、様々な県民ニーズに積極的に対応し、県民の皆さんの幸せの充実、県勢の発展を目指していきます。

### メリハリある配分で最大の効果を

#### 政策の選択と集中

平成18年度予算編成にあたっては、徹底した歳出削減と財源確保に取り組みとともに、政策の選択と集中の考え方により、予算配分にメリハリをつけ、最少の経費で最大の効果が発揮できるよう努めています。

### 財政再建・行政改革の着実な推進

#### 財源不足の縮小、解消に向けて

「聖域なき見直し」の方針のもと、平成17年度予算編成時から取り組んできた財政再建・行政改革は一定の成果をあげ、最大で400億円にも達した財源不足を180億円に縮小することができました。今後も、引き続き財政再建・行政改革の

取組みを着実に進める必要がありますが、平成18年度は、守りから攻めに転じ、県民ニーズに即した緊要度の高い政策を戦略的に展開していきます。

### 活力・未来・安心の「元気とやま」創造に向けて

少子・高齢化の進行と人口減少時代の到来、グローバル化等の進展など、環境が大きく変化する中で、富山県の10年後の目指すべき姿を描き、目標を明確にするため、新しい総合計画「世界に羽ばたく「元気とやま」創造計画（仮称）」の平成18年度中の策定に向け、検討を進めています。

また、平成26年度末の北陸新幹線の開業を見据え、民間活力を活かしつつ、観光振興、交流人口の拡大、地域の活性化、まちづくりなどを効果的に進めるため、本年夏頃を目標に、「未来とやま戦略アクションプラン（仮称）」を策定することとしています。

平成18年度予算では、先行的に「元気とやま」を具体化するための事業、プロジェクトに積極的に取り組むこととし、「元気とやま」創造のための特別枠（約20億円）で160の事業を計上しています。

これらの事業の内容については、タウンミーティングやふれあい対話などで寄せられた県民の皆さんの意見を積極的に反映させています。



### 【平成18年度に実施する主な行政改革】

- 政策を推進するための組織の整備**
  - 総合調整機能を強化するため知事政策室を拡充（危機管理、国際交流、地域振興、とやまブランド）
  - 重要施策を重点的に推進（芸術文化振興、森づくり施策、教育行政）
- 公の施設の見直し**
  - 県営スキー場、山野運動広場、青年の山研修館の廃止
  - とやま・ふくおか家族旅行村を高岡市へ移管
  - 新たに64施設に指定管理者制度を導入し、サービス向上を図り、かつ経費を削減
- 人件費の抑制**
  - 17年度から5年間で一般行政部門の職員数の概ね10%（416人）を削減
  - 職員等の給料の臨時的な削減措置を継続
- 事業の点検・見直し**
  - 610件の県単独補助金を廃止・縮減し、約21億3千万円を削減
  - 351件の事務事業を見直し、約28億6千万円を削減
- 外郭団体の見直し**
  - とやま国際センターのTIC日本語学校を廃止
  - 10団体において、経営改善や事業の見直しを実施

### 【用語解説】

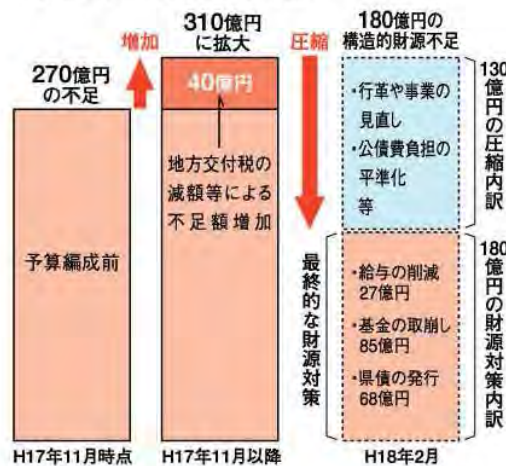
- ※**県税**…県民税や事業税などの県が徴収する税金
- ※**地方交付税**…どの地域においても標準的な行政サービスを提供できるように必要な税金等が不足している地方公共団体に対して、国から交付されるお金。地方公共団体が自由に使い道を定めることができる。
- ※**県債**…道路や学校など長い期間利用する公共施設の整備のために、県が借り入れるお金で、将来利用する住民にも費用を負担してもらうもの（通常債）。これ以外に、国の地方交付税の財源が不足しているために、県がお金を借り入れる臨時財政対策債などがある（特別債）。
- ※**国庫支出金**…国が使用目的を特定して交付するお金で、国庫補助金・負担金などがある。
- ※**公債費**…県債の返済に使うお金。

### 県民の皆さんの意見を施策に反映

<b>タウンミーティング</b> 主な意見95件に対し、 200項目を予算化	<b>ふれあい対話</b> 主な意見17件に対し、 15項目を予算化
<b>中小企業との対話</b> 主な意見25件に対し、 57項目を予算化	<b>元気とやま目安箱</b> 主な意見63件に対し、 91項目を予算化

※予算化した項目は、平成17年度において開催したタウンミーティング等の意見を反映したものです。

### 平成18年度の財源不足と対策



このページのお問い合わせは 県庁財政課 076-444-3167

URL [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1105/index.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1105/index.html)

北陸新幹線建設工事が進む新黒部駅(仮称)周辺の様子



台北市内を走るラッピング広告バス



- **交通・物流基盤の整備**
  - ・北陸新幹線の建設促進
  - ・北陸新幹線の県内工事区間の建設促進
  - ・富山駅付近の連続立体交差事業を推進
- **物流戦略の策定**
  - ・伏木富山港への貨物集荷促進策や県内物流コスト削減、環境に配慮した物流の

- **とやまブランドの確立**
  - ・富山の魅力を全国に発信
  - ・県民自身による富山の魅力の再認識に向けたPR等を実施
  - ・富山の魅力、最新情報を全国にPRする季刊「とやまマガジン」の発行
  - ・食のとやまブランド
    - ・富山ならではの食材や郷土料理と歴史文化に親しむ「とやま食の街道」の設定を行い、食の魅力を全国に発信
    - ・本県の食材を活用した「越中料理」の開発・PRなどによるブランド化を推進

● **農林水産業の振興**

- ・認定農業者の育成、集落営農の組織化、経営規模の拡大等の推進

● **地産地消**

- ・魅力ある品目の開発、インショップ販売等の拡大支援
- ・「地場産食材を活用した特別給食」の実施等への支援

● **北陸新幹線の建設促進**

- ・北陸新幹線の建設促進
- ・富山駅付近の連続立体交差事業を推進

● **活力・未来・安心の三つの柱に沿って、主な施策を紹介します。**

● **活力とやま**

県内経済の回復を確実なものとするため、産業振興に取り組むとともに、ブランド戦略、まちの賑わい創出、観光など交流人口拡大、交通基盤整備等により、活力ある県づくりを進めます。



チューリップ王国富山を世界に発信

● **産業・経済の振興**

- **起業等のチャレンジを支援**
  - ・地域に活力を与えるリーダーを育成するため、とやま起業未来塾に「地域づくりコース」を設置
  - ・創業資金を助成する「創業ベンチャー挑戦応援事業」対象者を拡大(創業後1年以内・3年以内)

● **企業立地の促進**

- ・企業立地助成制度に先端産業特別枠(限度額10億円)を創設し、限度額を拡大(30億円・50億円)

● **中小企業の振興**

- ・厳しい状況にある商店街等を支援するため、中小企業高度化資金の5年以内の償還猶予などを創設
- ・建設業の再生に向け、新分野進出のモデルとなる企業戦略プラン策定を支援
- ・イタリアマミノのデザイナーと県内のものづくり企業との協働で商品開発を進める「富山ミラノデザイン交流倶楽部」を支援

● **まちづくり、中心市街地の活性化**

- **まちの賑わい創出**
  - ・自ら考え行動する「がんばる商店街」の取組みを重点的に支援
  - ・中心市街地活性化基本計画策定に取り組む市町村を支援

● **観光の振興**

- **観光戦略**
  - ・新たな観光キャッチフレーズとシンボルマークを選定
  - ・観光モデルルートの提案公募、優れたルート開発・PR等を支援
  - **国際観光**
    - ・本県観光地の知名度向上を図る総合的

● **未来とやま**

少子・高齢化、人口減少の時代すう勢の中で、子育て支援の充実、若者・女性・熟年世代のチャレンジ支援、芸術文化振興等により、明るい未来の県づくりを進めます。

あり方などについての方策をまとめた物流戦略を策定

● **子育ての支援、少子化対策**

- **家庭、地域、社会全体で支える子育て支援**
  - ・子どもの居場所づくりのための地域の自主的な活動(「とやまっ子さんさん広場」)を支援
  - ・病後児保育など緊急時サポートサービス
- **仕事と子育ての両立支援**
  - ・経営者を対象とした意識啓発セミナー
  - ・男性の育児参加と子育てしやすい職場環境づく

● **男性の育児チャレンジ普及事業**

父親の育児休業体験や企業の支援事例を募集し、広くPR

● **交流人口の拡大**

- ・富山の豊かで美しい自然環境を活かした「とやま夏期大学(仮称)」の開催
- ・立山を終焉の地とした世界的バイオリニスト、シモン・ゴールドベルク氏を記念した音楽祭、セミナーの開催を支援

● **大都市圏との交流促進**

- ・富山の豊かで美しい自然環境を活かした「とやま夏期大学(仮称)」の開催
- ・立山を終焉の地とした世界的バイオリニスト、シモン・ゴールドベルク氏を記念した音楽祭、セミナーの開催を支援



- **がんばる商店街支援事業** (以下のような取組みを支援)
- 商店街や大型店などによる共同イベントの実施
  - 空き店舗等の活用(若者等によるチャレンジショップなど)
  - 商店街の魅力向上のための景観整備

● **教育の充実**

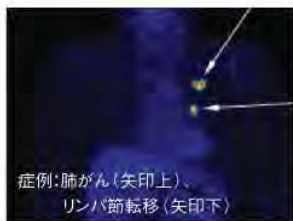
- **家庭教育の充実**
  - ・子育てに不安や悩みを持つ親を支援する家庭教育学習プログラムを作成
  - ・市町村が実施する、親子で参加できる宿泊型の自然体験事業を支援
- **学校教育の充実**
  - ・富山大学と連携、協力し、教員志望大学生等を「学びのアシスト」、心のサポーター」として小・中学校に派遣
  - ・教育実践に優れた「授業の達人」(教員OBなど)を学校に派遣し、実践的な授業技術等を普及
  - ・小学校の通常学



大学生による児童・生徒の「学びのアシスト」



地元の特産、大かぶの収穫体験



症例：肺がん（矢印上）、リンパ節転移（矢印下）

**PET検査**  
ブドウ糖に類似した放射性物質を注射し、各臓器への吸収状況をカメラで撮影するもの。がん細胞は正常な細胞と比べて吸収率が高いことから明るく映り、その部分のがんであることが診断できる。



**競技力の向上**  
中・高校生選手への長期的な育成、強化を図る「元氣とやまスポーツ道場」の開催  
中学・高校運動部活動の顧問の指導力向上を図る「スパーコーチ」を派遣

**スポーツの振興**

望ましい食習慣づくりのため、学校と家庭、地域が連携した食に関する指導を充実

**食育の推進**

食育推進計画の策定、食育リーダーの育成、食育ホームページの作成等

看護学生修学資金貸与制度における看護大学生貸付枠を拡充、県内で就業する場合の返還免除要件を緩和

小児科に加え、産科、麻酔科を目指す医学生に、医学生等修学資金貸与制度の対象を拡大

看護学生修学資金貸与制度における看護大学生貸付枠を拡充、県内で就業する場合の返還免除要件を緩和

がんの医療や検診に大きく寄与するPET（陽電子放射断層撮影装置）センターの整備に投資

**がん対策**

難支援の仕組みづくり  
県総合防災情報システムの防災情報をケーブルテレビに提供

**質の高い医療の確保**

難支援の仕組みづくり  
県総合防災情報システムの防災情報をケーブルテレビに提供

省エネ機器導入や環境家計簿等の作成などを実践する県民参加型モデル事業を実施  
循環型社会の構築  
生ごみ堆肥化等のリサイクル実証実験を実施

**地球温暖化対策**

省エネ機器導入や環境家計簿等の作成などを実践する県民参加型モデル事業を実施

**ツキノワグマの対策**

ツキノワグマ保護管理指針の策定、個体数調査、行動域調査及び生育環境調査の実施

**自然環境の保全**

ツキノワグマの対策  
個体数調査、行動域調査及び生育環境調査の実施

**生活交通の確保**

地域公共交通の確保  
NPO等が運行するバスの計画策定や運行管理を支援

**福祉の充実**

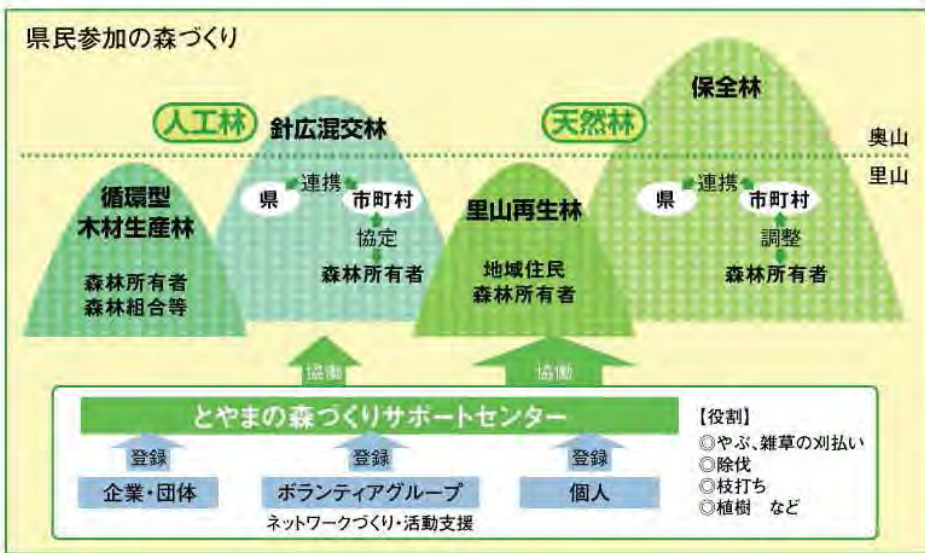
富山型デイサービスの普及  
既存住宅等を活用した施設整備の支援を充実

**介護あんしんアパート整備事業**

小規模多機能事業所併設の高齢者向け住まいの整備を支援

**障害者の自立支援**

本年4月から施行される障害者自立支援法に基づき、市町村と連携した体制を整備



**県民参加の森づくり**  
県の森づくり基本指針の策定、市町村森づくりプランの策定を支援  
「とやまの森づくりサポートセンター」の運営及びボランティア等による森林整備活動への支援  
森づくりに関する総合的な条例を全国で初めて制定予定制定



通学時の安全パトロール

「ときどき富山県民」の発掘、拡大  
本県への半定住推進に向けた首都圏等

**定住・半定住の推進**

「ときどき富山県民」の発掘、拡大  
本県への半定住推進に向けた首都圏等

町村等のネットワークを構築  
起業や再就職など様々な分野への女性のチャレンジを支援するため、ネットワーク会議を設置

事務職出身者の就業機会拡大のため、シルバー人材センターの取組みを支援

**県民の様々なチャレンジを支援**

若者・女性・熟年世代のチャレンジ支援  
ニート（無業者）等の若者の自立を支援するため、NPO、教育機関、経済団体、市町村等のネットワークを構築

特許等の知的財産を創造・保護・活用し、産業の活性化を図るため、新たな知的財産戦略を策定

最新ロボット技術の普及・啓発等を図るロボットシンポジウムを開催

大規模な学会等の開催を支援

県試験研究機関が富山大学や県立大学等と連携して行う先駆的・分野横断的な研究を支援

**学術・科学技術の振興**

級に在籍する学習障害児等を支援する「スタディメイト」を養成・派遣

「水辺のまち夢プラン」の推進  
水辺を活かしたまちづくりを進めるため、モデル計画を策定

**美しい県づくり**

「水辺のまち夢プラン」の推進  
水辺を活かしたまちづくりを進めるため、モデル計画を策定

美しいまち並みづくり  
良好な都市景観の形成のため、屋外広告物のあり方の見直し

モデル地区における広告物の除却・書替え支援

本年7月に「海フェスタとやま」を開催

次世代に受け継ぐべき自然、建造物、伝統文化等の選定・PR

**とやまの未来遺産**

地域資源を活かしたイベント、街並み整備などの地域活性化に向けた取組みを支援

「舞台芸術特区TOGA」構想の推進等  
国際的な舞台芸術家の専門教育を行う人材育成プログラムを実施

第四回日露文化フォーラム委員会開催を支援

**芸術文化の振興**

幅広い県民の参加のもとに、新しい時代にふさわしい美術展を開催

自主防災組織の育成強化  
災害時における高齢者等要援護者の避

**防災・危機管理体制の整備**

自主防災組織の育成強化  
災害時における高齢者等要援護者の避

地域防災力向上  
「地区安全なまちづくり推進センター」による地域安全マップの作製や防犯教室の開催を支援

登下校時の子どもたちの安全を守る「スクールガード・リーダー」の配置や「学校安全パトロール隊」の機能強化、不審者情報の共有化

幼稚園児や小学生に対する防犯安全教育を行う「こども安全サポーター」を増員

通学路指定区間で市町村等と連携し、安全な歩行空間を確保

**学校の安全対策**

「地区安全なまちづくり推進センター」による地域安全マップの作製や防犯教室の開催を支援

# とやま的！ 障害者支援



障害のある人も無い人も、ともに社会の仲間として生活していくノーマライゼーションの考え方。これにより福祉制度は大きく前進しましたが、その内容はサービスが障害の種類ごとに縦割りであったり、自治体によって格差があったりするなど、課題も指摘されていました。本年4月から施行される「障害者自立支援法」では、こうした課題を解決するとともに、利用できるサービスを充実し、障害者の地域生活支援の推進を図ります。



## 障害者施策が大きく変わり、みんなの自立を支えます。

4月から障害者自立支援法が施行されます

← 今後は次のように変わります

### ① 障害者施策が二つに

(平成18年4月から)

身体障害、知的障害、精神障害など、障害の種類ごとに別々に提供されていたサービスを一元化。従来は支援費制度の対象外だった精神障害の方も共通のサービスを受けることができます。

また、サービスの提供は身近な市町村が二元的に行い、県はそれをバックアップしていきます。

### ② 利用者本位の使いやすいサービス

(平成18年10月から)

障害者のニーズや状態に応じて適切な支援を行うため、複雑だった施設・サービス体系を、機能に着目して、今後5年程度の間にも再編します。(図1参照)

また、規制緩和を進め、空き教室や空き店舗、民家などを活用した施設などでも行えるようになります。

さらに、利用者の状況に応じて柔軟な対応が求められる手話通訳などのコミュニケーション支援、移動支援などは、「地域生活支援事業」として取り組めます。

### ③ 障害者がかもつと働ける社会に

(平成18年10月から)

就労支援サービス(就労移行支援、就労継続支援)

図1 福祉サービスの体系

(障害別サービス体系から機能別サービス体系に再編)

現行サービス		新サービス	
居宅サービス	ホームヘルプ(身・知・児・精)※	介護給付	居宅介護(ホームヘルプ)
	デイサービス(身・知・児・精)		重度訪問介護
	ショートステイ(身・知・児・精)		行動援護
	グループホーム(知・精)		重度障害者等包括支援
	重症心身障害児施設(児)		児童デイサービス
施設サービス	療護施設(身)		短期入所(ショートステイ)
	更生施設(身・知)		療養介護
	授産施設(身・知・精)		生活介護
	福祉工場(身・知・精)		障害者支援施設での夜間ケア等(施設入所支援)
	通勤寮(知)		共同生活介護(ケアホーム)
	福祉ホーム(身・知・精)	訓練等給付	自立訓練(機能訓練・生活訓練)
	生活訓練施設(精)		就労移行支援
	就労継続支援(雇用型・非雇用型)		
		地域生活支援事業	共同生活援助(グループホーム)
			移動支援
			地域活動支援センター
			福祉ホーム

※身=身体障害者、知=知的障害者、精=精神障害者、児=障害児

### ④ サービス利用の仕組みをわかりやすく

(平成18年10月から)

支援では、就職に必要な知識や能力の向上に向けた訓練を行い、一般企業等への就職を希望し、働く意欲と能力のある方を支援します。

支援を効果的に実施するため、ケアマネジメントの仕組みを取り入れ、支援の必要度に応じてサービスが公平に利用できるよう、障害程度の判定に全国共通の基準を設けます。また、審査会を設置するなど、利用のための手続や基準を明確にします。(図2参照)



# Clip board

県政の今後の予定と最近の動きを紹介します。

※青い文字は写真を参照

## 今後の予定

### 4月9日 …知事のタウンミーティング

(高岡市JA会館)

明日の富山県を語るタウンミーティングを開催します。(写真は昨年12月に富山市で開催されたタウンミーティングの様子)



### 23日 …男女共同参画に関する公開講演会

(富山国際会議場)

### 29日 …「銀座みゆき通りフラワーカーペット」イベント

(東京都中央区銀座)

### 5月11日 …「とやま賞」贈呈式・記念講演会

(富山国際会議場)

### 25日 …とやま森の祭典(とやま・ふくおか家族旅行村)

## 最近の動き

### 1月10日 …新規大学等卒業予定者就職支援セミナー



### 14日 …県国民保護シンポジウム

### 17日 …医療費助成制度あり方懇談会

### 20日 …県行政改革推進会議

### 23日 …未来とやま戦略会議

### 25日 …第1回子どもの安全確保専門部会

### 26日 …常陸宮賜杯第56回中部日本スキー大会(～28日)(写真①)

①常陸宮ご夫妻をお迎えして南砺市で競技が行われ、富山県が3年ぶり18度目の総合優勝を飾った。

### 31日 …伝統文化・観光活用懇談会 …第1回県良好な都市景観形成懇談会



②基調講演やパネルディスカッションを通して、食育の意義や取組みの方向などを考えた。

### 2月7日 …元気とやま! 就職セミナー(東京)

### 13日 …子ども政策県民会議

### 14日 …県広域まちづくり商業振興懇談会

### 16日 …第1回とやま食育推進フォーラム(写真②)



③共同研究や人材育成など幅広い分野の連携協定を締結した。

### 21日 …平成18年度県予算発表

### 23日 …県立大学と北陸銀行、富山第一銀行、富山銀行、日本政策投資銀行の連携に関する協定書調印式(写真③)



④対話と改革の元気とやま創造予算案などの提案理由を説明した。

### 24日 …県総合計画審議会

### 26日 …子育て支援フォーラム

### 27日 …2月定例県議会(～3月23日)(写真④)

### 3月17日 …とやまベンチャーマッチングフェア

図2

## 障害者の福祉サービス利用の手続き

相談・申込み(相談支援事業者)[市町村]

利用申請[市町村]

障害程度区分の一次判定[市町村]

障害者の心身の状況を判定するため、106項目の評価を行います

医師意見書

二次判定[審査会]

審査会は、障害保健福祉をよく知る委員で構成されます

障害程度区分の認定[市町村]

介護給付では区分1～6の認定が行われます

勘案事項調査[市町村]

就労・介護者・居住・サービスの利用意向の聴き取りなど

支給決定[市町村]

サービス利用開始

⑤制度をみんなで支える仕組みに  
(平成18年4月から)  
サービス費用は国、県及び市町村が負担するとともに、利用者負担は、利用したサービス量と所得に応じた負担(1割の定率負担と所得に応じた月額上限の設定)に見直されます。また、施設等の食費・光熱水費などが実費負担となります。なお、所得の低い方には、軽減策が講じられています。

県では、この法律の施行を機に、これまで以上に、障害のある方が住みなれた地域で安心して暮らせる社会の実現を目指していきます。



このページの  
お問い合わせは

県障害福祉課  
☎ 076-444-3212

URL [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1209/index.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1209/index.html)



「元気とやま目安箱」から、新しい富山が始まっています。

県民の皆さんからの意見の積み重ねが、次の富山県の施策を生むベースになっています。積極的な政策提言には知事が回答するほか、県政への反映状況なども定期的に公表します。次は、あなたの声をお聞かせください。

**Q** 県政バス教室に参加して、県の仕事ぶりについて楽しく勉強することができました。ただ、定員の半数以上を占めていた団体参加者が、おしゃべりに夢中だったりして、個人参加者は居心地がよくありませんでした。真面目に参加したい人が優先されるよう、運営方法の見直しをお願いします。

**A** 県では、県の施設や施策を現場で見ただき、県民の皆さんのご意見やご要望をお聴きするために、県政バス教室を開催しています。これまでも県の施策だけでなく、県政バスの運営方法についてもご意見をいただき、工夫・改善してきました。平成18年度の運行については、団体参加について同様のご指摘が多いことから、個人・グループ(10名以下)での参加を条件にしたいと考えています。

なお、「平成18年度県政バス教室の運行案内」につきましては、4月中旬に県ホームページに掲載するとともに、各市町村窓口などに配付する予定です。



**Q** 大型店が郊外に出店し、若い世代が郊外に住むなど、中心市街地はとともさびしくなっています。これ以上住民が減ると地域の伝統文化が継承できなくなったり、運転できない高齢者が生活できなくなったりします。交通弱者もいきいきと暮らせるまちづくりが必要ではないでしょうか。

**A** タウンミーティングや中小企業との対話などでも、そのようなご意見を数多くいただいています。そこで、昨年6月に学識経験者、消費者、商業団体の代表者などからなる「富山県広域まちづくり商業振興懇談会」を設置し、議論していただきました。本年2月には、広域的なまちづくりの観点から、大型店などの立地を地域にとって望ましい形に誘導することや、商業者や地権者の自助努力に加え、住民、行政など地域の総力を挙げて取り組むことが必要などとする提言書を受け取っています。平成18年度予算では「がんばる商店街支援事業」などを設けて応援していきます。



**?** この件のお問い合わせは **県庁広報課** ☎ 076-444-8909

**?** この件のお問い合わせは **県庁商業流通課** ☎ 076-444-3253



「元気とやま目安箱(知事への意見・提言)」係まで

- ◎はがき・手紙…〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課 ☎FAX…076-444-3478
- ◎インターネット… URL <http://www.pref.toyama.jp/tiji-form.html>
- ◎これまで寄せられた意見… URL [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_cat/401010/kj00002016.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_cat/401010/kj00002016.html)

県 ？ 政 ？ ク ？ イ ？ ズ (○の中に文字を入れてください)

平成18年度の県予算は、

「『○○と改革』の元気とやま創造予算」です。

ヒントはp.2 特集ページにあります。

- 応募方法…はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、下記まで。
- 宛先…〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま4月号クイズ係」
- 締切…4月14日(金)(必着)

正解者の中からペアで10組の方に、「富山県立近代美術館招待券」をプレゼントします。

開館25周年 世界・日本・富山  
アート・シンフォニー  
20世紀美術  
の響き



世界・日本・富山の視点でコレクションを充実してきた県立近代美術館の活動の成果を紹介します。会期…4/22(土)～6/18(日)  
当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。  
なお、発送予定日は4月17日(月)です。

## 表紙の人

かわしまとしひこ

おだに さとる

川嶋俊彦さん 小谷 暁さん

とやまっ子さんさん広場※:さんさんサポーター

# ここで生まれた友情を、 地域を愛する心に育てたい。



ピバふじみだい



仏生寺っ子広場

### 遊びからはじまる心のつながり

川嶋俊彦さん(「ピバふじみだい」さんさんサポーター)

真新しい家が並ぶ氷見市柳田藤見台地区。



10年ほどで一気に住民が増えた新興住宅地に、町内の集会場を利用した『ピバふじみだい』はあります。午後3時半頃、玄関が開くと同時に元気な声が部屋中にあふれます。1年生から4年生まで13人。ここではまず勉強がルールで、「宿題がなくても、算数や漢字のプリントをしてもらいます」と川嶋さん。もと校長先生だけあって、子どもたちの目の前で学年に応じた問題を手作り。遊びたくても、やることをやってからが『ピバふじみだい』での約束です。

世話人は自治会から3人、市の育児ヘルパーが3人。毎日2人体制で子どもたちを見ています。「最近の子どもたちは、上下関係が薄い。ここでは違う学年の子どもとふれ合うことが多いので、いい意味での縦のつながり、助け合う人間関係、そして地域を愛する心が育ってほしい」と川嶋さん。最近では、声をかけなくても、子どもたちからあいさつや宿題をするようになり、少しずつ、手ごたえを感じています。

※「とやまっ子さんさん広場」は、町内会やNPOが取り組む放課後や夏休みなどの子どもの居場所のこと。氷見市の2か所のほか、立山町利田地区(夏休みのみ)、射水市庄西地区、滑川市巾加積地区でも行われています。今後、県内各地でこのような取組みを広めていきます。

### 子育てする人にやさしい地区へ

小谷 暁さん(「仏生寺っ子広場」さんさんサポーター)



一方の氷見市仏生寺地区は、全校児童が50人あまりという中山間地の小学校区。そんな中で『仏生寺っ子広場』を開いたのは、「安心して子どもを生き育てられる地域にしたかった」という小谷さんの想いがありました。「校区が広く、近所に遊び友だちがいない。以前、友だちの家に行った子が遅くまで帰らず、騒ぎになったことがあって」と小谷さん。祖父母がいても農作業に出ていることも多く、それならと、仏生寺小学校のクラブハウスを利用して『仏生寺っ子広場』をスタートさせました。12人の世話人のうち、毎日1~2人体制で子どもたちを見ています。

登録しているのは1年生から5年生まで22名ですが、通常は1年生が中心。夏休みや冬休みは、上の学年の子どもたちも、お弁当持参で毎日来ます。「みんなとても仲がいいのがこの自慢。自分たちでどんどん遊びを考えて、自由に楽しんでいます」と小谷さん。「『仏生寺っ子広場』があることで、子育てしやすい地域という魅力につながれば。また、子どもたちの地域への愛着も深まればいいと願っています」。

## とやま旬レシピ

[協力] 富山市食生活改善推進連絡協議会

# 和風ポークソテー



豚肉と野菜の黒ゴマだれ(写真奥)

食べやすい大きさに切った薄切りの豚バラ肉をゆで、せん切りのキャベツ、にんじん、さらしタマネギ、貝われ菜と器に盛り、黒ゴマだれであえて、サラダ感覚で。

生産者の愛情と真心がギュッとつまった新鮮で安心な「とやまポーク」。富山の自然環境の中で、こだわりのエサを食べて育てられた豚のお肉は、ジューシーで柔らかく豊富なビタミンB1が特徴です。疲労回復やイライラを防ぐといわれる豚肉と春野菜の食卓で、元気な春を迎えましょう。

### 作り方

- ① 豚肉は数箇所を筋切りし、塩・コショウする。
- ② とき卵を肉の片面にたっぷり付け、卵を付けた面から順に熱した油で焼く。
- ③ 大根はおろして軽く水分を切り、ねぎはみじん切り、菜の花はゆがく。
- ④ 焼いた肉を器に盛り、大根とねぎを上のにせ、菜の花をそえ、ポン酢でいただく。(お好みでトマトをそえてもよい)

※片面だけ卵をつけるので、余分な脂がぬげ、旨味を残してジューシーに仕上がる。冷めても柔らかいのでお弁当にも。

### とやまポーク

主な産地…富山市、魚津市、黒部市、小矢部市、南砺市、立山町ほか



### ■材料・分量(4人分)

豚ロースしょうが焼き用…320g  
塩・コショウ…各少々 卵…1個  
サラダ油…大さじ1 大根…200g  
ポン酢…大さじ4 細ねぎ…4本  
菜の花…1束

1人分/約200kcal



トピックス!

高校生以下および障害をお持ちの方は、県の文化施設の観覧料が年間を通して無料になりました。

# とやまお出かけサイト



## 内山邸 文人も数々輩出した豪農の屋敷

江戸時代の典型的な豪農屋敷。十村役で、富山藩主も訪れた邸宅は、大広間、表座敷、書院など、どれも選び抜かれた材料でつくられています。大広間の壁には加賀藩主前田家から譲り受けた檜や雑刀が当時のままに。1万平方メートルを超える広大な庭には名木や名石が配され、四季折々に訪れる人を楽しませてくれます。

※藩から任命され民政をつかさどった大庄屋のこと



見ごろ…梅園(庭園東側) 紅白の梅、約60本が初春を彩ります。4月上旬まで

しだれ桜 4種類の桜の大木が邸宅の歴史に華やぎを添えます。4月中旬まで

開館…9:00～16:00

休館…火曜、年末年始(12/29～1/3)

住所…富山市宮尾903

交通…JR富山駅から地鉄バス八幡経由  
四方行き「住吉内山邸口」下車、  
徒歩約10分

国道8号線金山新交差点から車で約3分

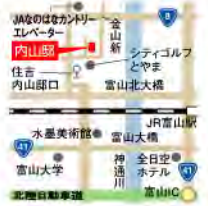
北陸自動車道「富山IC」から車で約  
30分(駐車場41台)

料金…見学:一般200円

※施設利用の場合は別途

お問い合わせ…076-432-4567

URL <http://www.kenminkaikan.com/uchiyama/uchiyamaindex.htm>



## 金岡邸 くすりの富山を支えた薬種商の館

300年の歴史を持つ売薬業の資料を中心に、薬業全般にわたる多くの資料が展示される金岡邸。母屋は明治初期の店舗の姿をとどめ、新屋は伝統的木造建築の特徴を生かした総檜造りで格調の高い格子天井の座敷があります。明治天皇がご休憩された名園を眺めながら、お茶会などを楽しむこともできます。

展示…売薬の原料、製造道具、製品、包装、売薬版画ほか



開館…9:00～16:00

休館…火曜、年末年始(12/29～1/3)

住所…富山市新庄町1-5-24

交通…電鉄富山駅から富山地鉄本線に  
乗車約5分、「東新庄駅」下車、徒  
歩約5分

国道8号線金泉寺(立体)交差点から車で約10分

北陸自動車道「富山IC」から車で約  
20分(駐車場15台)

料金…見学:一般200円

※施設利用の場合は別途

お問い合わせ…076-433-1684

URL <http://www.kenminkaikan.com/kanaoka/kanaokaindex.htm>



もっと知りたいとやま

### 4月の県政番組・お知らせ

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ

[毎週土曜] 9:30～10:00 放送時間を変更しました

15日…来たれ!創業へのチャレンジャー  
「とやま起業未来塾」

22日…おいしい富山の米作り

29日…地域に開かれた県立大学～新たな挑戦～

富山メモリアルナイト チューリップテレビ

[毎週火曜] 21:55～21:58

県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

週刊!とやま元気家族 富山テレビ

[毎週日曜] 9:00～9:25

2・9日…(番組はお休みです)

16日…チューリップ王国

23日…富山で進む、深層水の利用

30日…地域の伝統を守ろう!～伝統芸能

県からのお知らせ コミュニティFM各局

◎富山シティエフエム◎ラジオたかおか

◎ラジオ・ミュー◎エフエムとなみ

[毎週月曜朝] [毎週金曜夕方] 各2分半

元気とやま情報スクエア FMとやま

[毎週月～金曜] (最終金曜除く)

10:50～10:55、(再)17:20～17:25

[毎月最終金曜] 10:50～11:00、(再)17:20～17:30

※毎月最終金曜は「知事の県政ざっくばらん」として、知事が最新の話題について語ります。

### 新聞広報

県からのお知らせ

[4月8日(土)、22日(土)の朝刊各紙に掲載予定]

### 富山県ホームページ

URL <http://www.pref.toyama.jp/>

「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は

●〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課あて

●電話番号: 076-444-3134

●FAX: 076-444-3478

●E-mail: koho@pref.toyama.lg.jp

●ホームページ:

URL [http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1001/index.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/index.html)

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

毎回の県政クイズ応募はがきは、多いときで1500通以上になることがあります。たくさんの方々が県広報に興味をお持ちになっていて、思うと励みになりますし、それともにもいたただくご意見も誌面づくりの参考になります。今後また皆さんのはがきをお待ちしています。

編集部から